

特別版

今週の問題

1666回

力闘争は必至？

開放体制下で、上海はじめ沿岸都市や長江デルタ地域は日米の消費文化とビルラッシュ。だがその周りの貧困は旧態依然としている。写真は上海のアパート建設。竹囲いは旧住居で、まだ人々が住んでいるようだ。四畳半に六人の超過密が解決するのはいつの日か。

本社 日本の産業界は、いまちょっとした中国ブームです。他方、中国の財政危機・外貨危機・鄧小平が去った後の政治・経済的混乱を懸念する人々も依然多いのですが…。

中国ブームの終わり

A 中国はいま、中華思想の返返りで、西側の最先端技術がほしい。八〇年代の最先端のプラントを導入しながら、雨ざらしのまま放置してあるという国家的浪費がいま国会で

出席者

- A 中国産業研究所長
- B 大学教授
- C 現代中国史研究者

漫画 那須 良輔

追及されている。中国の一人当たり

GNPは二三五ドルしかない。中国

の財政規模は日本円で五兆円程度

だ。総合商社の幹部の集まりでそん

な話をしたらみなさん驚いていた。

これが現実なんだ。

C 二年半前まで内乱に近い状況

にあった国に、近代国家への百年の

大計が立てられるわけではないし、明

確な長期的レイアウトのないまま、

一部の経済開放地域に最新式のプラ

ントが持ち込まれているだけで、イ

ンフラも、エネルギーも原料問題も

未解決のままだ。沿岸都市、揚子江

デルタの工業化と消費文化は進んだ

が、公害問題は深刻だ。空は黒ず

み、河は汚れても、そんなことにか

まってはられない。

B 日本の中国ブームは間もなく

終わる運命にある。財政危機は年内

にやってくる。しかも、開放体制で

経済の基礎が固まったわけでもな

い。

C 第七次五ヵ年計画は縮小均衡を目標とするをえなくなった。

B 北京に駐在している日本の商

社、銀行の第一線の人は非常に冷

静だね。企業のトップには、ノスタ

ルジアがあり、贖罪意識があり、ロ

マンがある。中国へ進出している企

業はいずれも儲かっていない。中国

は社会主義の国であり、ものすごく

計算高い民族であり、日本企業が儲

けるのは簡単でない。

どうせそうなら、日本はもっと長

期的に中国の経済を強くするような

協力の仕方を模索すべきだね。非常

な短期戦略で出て、一人当たりのG

NPが二三五ドルのところへ、テレビ

を売り込み、財政危機になる前に利

益を回収するというようなコソクな

やり方は禁物だ。

A 西側企業が進出できる深圳特

区はものすごく発展していると中国

側は報じていたが、甘くないか。

B ビルが少し多くなり、工事現

上海市内ではいま、続々と集合住宅が建てられている

中国

"鄧小平後"の権



揚は広がったが、一年四カ月前に行った時とほとんど変わらない。それよりも、この実質的な主人は外国人であり、外国通貨であり、昔の租界のような感じがする。中国人もそう感じている。

A 人民代表大会では、深圳が大きく批判されていた。この経済特区では人民幣が決定的に値崩れしてしまっているのではないかとね。

B だから、香港と深圳の国境は事実上なくなったが、第二国境線は嚴重に金網を張って、三重に電流を通し、六〇〇〇名の国境守備隊と税関吏が、四十数にわたって配備されている。

C 問題は、開放体制が作り出した貧富の差とヒズミ、腐敗現象に、国民的不満の爆発とか権力闘争が起きないか、ということだ。

鄧小平以後に流動

A 不満は限度にきており、必ず路線闘争に発展する。

C 万元戸が宣伝されて、中国全体が豊かになったように見えても、全体としては貧しいままだ。ごく一部が近代化され、取り残された人民大衆は、近代的な人間の生活を見て

不満をつのらせている。しかも一部の先進地域に「資本主義的腐敗」を見て、中国社会主義はこれだ、いか、という危機意識へ発展する。

B ただこの路線は、毛沢東時代には帰らない。近代化の必要性では国民的合意ができています。地域格差や不均衡が広がっても開放体制を推進するか、成長の減速覚悟で社会主義的な引き締めと計画経済で行くべきかをめぐっての路線闘争になるだろう。

A 鄧小平以後の時点で、ポスト毛沢東の闘争より激しく深い闘争が起きるのではないかと。毛の死去に

第一の株式テレホン
03 ショッピング
244-2888

訪問、動話なしでマイベースの株式投資をお望みの方にピッタリのシステムです。お気軽に、ご相談ください。

第一証券

本店・東京 日本橋 三越前 全国主要都市39店舗 海外/ロンドン・ニューヨーク・ジュネーブ・香港

よって起きた闘争は、党内に限った一過性の単純なものだった。おれが勝つか、お前が勝つかの単純な権力闘争だった。今度は、そうはいかない。鄧の政治力がなくなった時点で、資本主義の方向に動き出した国民的潮流を、指導部がどう押しとどめるのかというまことに複雑な問題が持ち上がってくる。全国的な経済統一性の崩壊、経済アンバランス、貧富の差を、文革残党は鄧の責任と非難し始めるだろう。

党指導部の一部は自由化の流れとの妥協を図ろうとし、一部は党の復権を兼ねて、権力による制圧を求めよう。この闘争は、ポスト毛沢東のような一元的、一過性のものではない。

B その闘争は、長い時間がかかる。ポスト毛の闘いは跡目争いで宮廷革命だった。今度の闘争は社会主義が生きるか死ぬかをめぐる本質的な問題となるからね。

C しかも、中国経済内部は地方によって個々別々の方向へ向かい始めた。市場原理が導入され、都市に生産力が集中し、価格形成過程も変化すると、人間の心理も変化する。

昔の社会主義的ドクトリンによる統制がとれなくなり、重工業の東北三

省は独立王国の方向に進んでいる。

長江や珠江デルタ地域を中心に建設されている鉄鋼、石油化学などの重工業や電機、自動車などの近代のプラントも、独立的に発展するのみで、取り残された後進地域を引き上げるような形で発展していない。後進地域は取り残されるか、悪くいえば搾取の対象となっている。権力闘争は地域的にバラバラに展開されるかも知れない。

ヤケドをしないうために

B 日本の財界の方々が、中国で大ヤケドを負わないよう中国の現実をよく見てほしい。中国へ行く日本の財界人は、中国の権力の奥深くに位置しているオーソドックスな社会主義の党と軍の中核的人物たる陳雲や姚依林などには会っていない。この間、五島昇さんが中国へ行って、初めて姚依林に会ったけれど、肝心の陳雲には会っていない。

これほど日中関係が緊密なのに、中国社会主義の奥の院には会っていないんだ。鄧小平は、プラグマティストだから、「社会主義制度下の資本主義」を活用して、社会主義の病

氣を治そうとしたりしているが、彼

に一貫した戦略があるわけではない。

C 第一、鄧小平は権力の基本勢力たる軍に、陳雲のような強力な地盤を持たない。

B 陳雲が何を考えているかを知らずして、今後の中国がどの方向へ進むのかを知ることができない。ソ連のアルビホフ第一副首相が中国を訪問した時は、陳雲に会って本音を問いただしている。西側に窓口は開かれてはいるけれど、その奥には社会主義の奥の院があることを知っているのだ。僕は、中ソ和解は進むと思う。西側に窓口は開くが、ソ連との関係も改善して、社会主義陣営での地盤強化を図ろうとしていることも見逃がしてはならない。

C 鄧小平の路線が本場に国民大衆から支持され、軍からも支持を受け、近代化する力量があるかを見きわめなければならぬ。自由経済のなかで需要と供給のアンバランスが発生し、エネルギー不足、インフラストラクチャーの不足が目立ってきている。三月の趙紫陽首相の演説はすでに経済建設の引き締めを示唆している。

軍の近代化を行い、一〇〇万人を削減するなどと言っているが、こん

なことをすれば、たちまちにして失業問題を起こす。

文革で下放された青年たちが北京に住まわせろというデモや座り込みをやる。上海をあこがれて集まってきた青年たちには職がない。職につきにくくもコネがなくてはできない。また、党の命令で貧しい辺境地区へ送り込まれた大卒青年たちも、かなり不満を持っているようだ。

A 毛沢東と鄧小平とは際立っている。前者は窮民化政策、封鎖主義的な自力更生、革命主義的、理想主義的な地に足のつかない方向を選んだ。後者は開放的で現実合理主義的

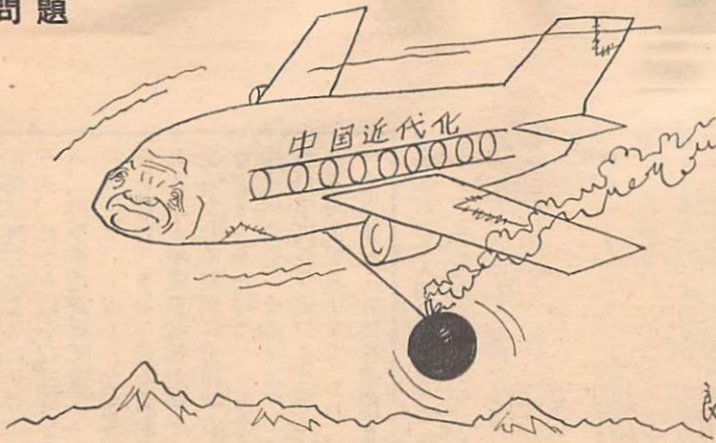
赤坂・六本木再開発事業
組合施行61年完成



ARK
アークヒルズ

森ビル

社長 森 泰吉郎
TEL03(433)2211(大代表)



うっかり不時爆もできない？

なことをやった。我々の常識からはベターな政策で、毛沢東政治のもとで苦しんできた民衆からは拍手喝采を得られたのも当然だ。

それは評価するとしても、社会主義国であることを忘れてはならない。社会主義的な原則に立つと、それは彼らのよくいう精神汚染、資本主義汚染につながり、社会主義の否定の方向となる。

C しかも、一部だけが高度消費経済の恩恵に浴し、大多数は貧しいままなのだから、この貧富の差は資本主義汚染のせいだという意識に容易に変化する。

B 日本人の場合は、日中友好という座標軸だけで中国を見てしまう恐れがある。アメリカ人のようにドライな見方はしない。中国は依然として社会主義の旗を掲げ、中国共産党一党独裁の国だ。ひとたび権力を確立したら、そう簡単に城を開け渡さない。しかも、最近の中国は権力の深部で何かが起きている。自由化批判として一部は表面に出ているが、その闘争の全体像は表には出ていない。

開放経済という窓口だけを見てみると中国は非常に発展しているかに見えるけれども、中国社会全体

から見ると、それはあくまで窓口なんだ。窓口は窓口なのであって、その窓口を開くがゆえに社会的な抑制とか統制は非常に厳しい。

C 犯罪者なんか、どんどん公開処刑しているが、これは中国社会の最底辺部分にかなり大きな変動があつて、それに対応して「整党」をやらなければならなくなっていることを示している。

B どうしようもなくなくなってハイジャックなどの犯罪、あるいは亡命に走らざるをえなくなっている。だから締めつけが非常に厳しいし、そういう見せしめのための公開処刑もやらなきゃいけない。

東北にソ連ブームが再来？

C 軍はこの状況下で鄧小平にいつまで服するのかが問題だ。

A 軍の中が必ずしも鄧小平に服していない。彼は軍事委員会の主席を兼ねているわけだが、軍のなかがまとまっていけないから、そうしているまでなこと。去年の夏に階級制度が復活することを決めていたにもかかわらず、これも依然としてできていない。

軍の近代化は、いまの中国の大き

な目標の一つだけれども、近代化をするための軍の中のシステム改革にまったく手がついていない。

C ベトナム侵攻で敗北した体験から、装備近代化が叫ばれてはいるが、軍の上層部は、近代化とは無縁の人たちで占められている。中国革命のなかで軍はエリートであり、正規軍の幹部は、地方政治のリーダーでもある。

軍の組織が変革していけば、技術的に時代遅れとなった軍人たちは使われなくなる。近代化には、近代的な軍事組織が必要になり、古い幹部たちも去らなければならなくなる。

新外国投信誕生！

**フィデリティ
ディスクバリー・ファンド**

(ドル建て外国投資信託) 好評販売中

丸三証券

中央区日本橋2-5-2
☎ 272-5211(代)